

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)						
市町村名	しいづなまち 飯綱町		ふりがな 箇所名	しやながのしなのせん (主)長野信濃線			きたがわ 北川	事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H26年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=460m W=6.0(11.0)m						H22年度末事業進捗率	0%						
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%						
	H23年度実施内容	道路詳細設計、橋梁予備設計、用地測量 1式						用地補償費ベース	0%						
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残					
	事業費計(千円)	450,000		0		0		20,000		450,000					
財源内訳	国庫支出金	247,500		0		0		11,000		247,500					
	その他														
	県債														
	一般財源	202,500		0		0		9,000		202,500					
箇所評価	観点	評価項目・指標等						評価				部	政策評価課		
								ランク	評点		ランク	評点			
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上		1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		A	2		A	2		
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある					0			0		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある		駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない			5			5		
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2			2		
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない				2		2					
		各事業特有の必要性(安全の確保)		5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)		4			4		
				歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4			4		
	小計								19		19				
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)		県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		B	4		B	4		
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い		環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない			4			4		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている		特別な位置づけはない			3			3		
		小計								11			11		
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上		B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	6		A	6		
		事業効果の早期発現 (H20以降残事業年数)	事業年数 5年未満		事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上			5			5		
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない			4			4		
	小計							15		15					
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		B	9		B	9		
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する		渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない			0			0		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路			9			9		
	小計							18		18					
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		B	6		B	6		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		特に周知していない			3			3		
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4			4		
小計								13		13					
費用対効果(B/C)		4.48		評価の合計				A	76		A	76			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、長野市街地と飯綱町・信濃町を結ぶ主要幹線道路であり、平成13年に坂中バスが開通したことにより交通量の大幅な増加(特に大型車)が見られる。当該箇所は狭隘・急カーブ区間であり大型車のすれ違い等に支障をきたしている。また、隣接工区が完了間近であり、安全な交通確保のため、早期の改良が望まれている。・牟礼西小学校の通学路となっているが歩道が整備されていないため、交通安全の面からも早期の対策が望まれている。													
	地域からの要望経緯	(主)長野信濃線改良促進期成同盟会が設立されており、早期整備を求める提言書が提出されている。飯綱町から経年的に要望書、交通弱者の通行安全を確保する意見が提出されている。													
	事業説明等の経緯	平成8年度に地元説明会にて全体計画を説明。平成22年8月4日に再度、事業説明会を開催した。地元北川地区がバイパス計画の受入を表明し、道路改良への期待が高まっている状況。													
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、極力土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。歩道の幅員を最小限とし地形の改変を極力少なくして環境に配慮している。													
	他事業・プロジェクトとの関連	県単道路改築事業													
特記事項	地域住民が安心して安全な生活が出来るよう、住民の意見を反映して計画の修正を実施する。観光的要素もあることから、堆雪帯を用いて花壇を設置するなどの提案もあるため、事業化に際しては意見を取り入れたい。														
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他						
部意見	全体的に評価レベルが高く、狭隘で急カーブ区間を解消するための必要性も認められる。地元の受け入れ態勢も整っているため、平成23年度から事業着手したい。					政策評価課 意見		必要性が認められる。							